



高知ユニットセンター



子どもの健康と環境 に関する全国調査 (エコチル調査)

平成27年度 年間活動報告書



高知大学
Kochi University

小児保健・環境医学研究センター

目次

はじめに	2
エコチル調査とは.....	3
エコチル調査の中心仮説及び概要	4
エコチル調査のいま	9
Ⅰ. 主な活動年表	14
Ⅱ. 調査実施体制	17
Ⅲ. 調査の進捗状況.....	21
Ⅳ. 調査の実施	23
Ⅴ. 疾患情報登録調査	26
Ⅵ. データクリーニング	27
Ⅶ. 問い合わせ対応.....	28
Ⅷ. リスク管理	29
Ⅸ. 高知ユニットセンター調査スタッフの教育・研修.....	30
Ⅹ. 学会発表.....	30
Ⅺ. 業務担当者 （平成 28 年 3 月 3 1 日現在）	33
Ⅻ. 広報活動.....	35

はじめに

おかげさまで、エコチル調査は平成 28 年 1 月に 5 周年を迎え、エコチルキッズは今夏には 5 歳を迎え始めます。

平成 23 年 1 月末に全国 15 ヶ所の拠点で参加募集が始まったエコチル調査は、全国で約 10 万人、高知ユニットセンターでは 7,094 人の妊婦さんの参加登録（お父様の参加登録は全国約 5 万人、高知 2,386 人）を以て、13 歳までの追跡期調査が順調に進んでいます。

平成 26 年 3 月に参加募集が終了後、「全体調査」では全ての参加者の方に半年毎に質問票にお答えいただく一方、平成 26 年 10 月から全体調査参加者の 5%（全国 5,000 人、高知県約 350 人）を対象に「詳細調査」が開始され、訪問調査によるご自宅の環境測定・医学的検査・精神神経発達検査を実施しています。また、妊娠中にご提供いただいた生体試料の測定も進み、平成 27 年度末までに 6 万件の血中の水銀・カドミウム・鉛・セレン・マンガンの測定が終了しました。

エコチル調査は、ご参加くださっているお子様とそのご家族のみなさま、そして、県内外の医療機関、高知県、対象地区である 11 市町村（高知市・南国市・香南市・香美市・四万十市・宿毛市・土佐清水市・梶原町・黒潮町・大月町・三原村）など、多岐にわたる方々のご協力のもと今日まで進んでいくことができました。平成 29 年度から参加児がいよいよ小学生になろうとする中、学校保健や環境対策の専門家など、子ども達の成長に沿って必要な専門家の方々の更なるご協力をいただきながら、エコチルキッズの健康を見守り、未来の子ども達のために科学的エビデンスの提供を続けてまいります。

エコチル調査は、環境要因に焦点を当てた 10 万人規模の出生コホート調査として、デンマーク、ノルウェーと並び世界最大の調査です。高知の皆さんと共に世界的な研究に貢献することを私達の誇りとしながら、未来の子ども達のために「高知から世界へ」情報を発信し、その成果を高知の子ども達の健康を守る環境の実現に繋げることができるよう高知ユニットセンター全員が一丸となって邁進いたします。

引き続き皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 7 月

エコチル調査とは

2011年1月、環境省は、日本中で10万組の子ども達とそこそ両親に参加していただく大規模な疫学調査「子どもの健康と環境に関する全国調査」を開始しました。「エコロジー」と「チルドレン」を組み合わせ、その愛称は「エコチル調査」となりました。

エコチル調査は、近年増加傾向にあるアレルギーや肥満など小児の疾病の増加を背景に、「胎児期から小児期にかけての化学物質曝露をはじめとする環境因子が、妊娠・生殖、先天奇形、精神神経発達、免疫・アレルギー、代謝・内分泌系等に影響を与えているのではないか」という中心仮説を解明するため、赤ちゃんがお母さんのお腹にいる時から13歳になるまで、定期的に健康状態を確認させていただき、環境要因が子ども達の成長・発達にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。また、化学物質の曝露などの環境影響以外にも、遺伝要因、社会要因、生活習慣要因など、さまざまな要因についても幅広く調べていきます。

環境リスクが私たちの健康に与える影響を明らかにするために、従来から動物実験、基礎研究を中心としたメカニズムの解明が図られてきました。しかし、動物と人間とでは、形態学的、生理学的に大きな違いがあることから、動物実験の結果だけから人間の健康影響を知ることは困難であり、なんらかの影響が生じているのかどうかを、実際に人間の集団で観察する疫学的なアプローチが重要になります。それがエコチル調査です。北は北海道から南は沖縄まで、全国15カ所の拠点で10万組の参加者の追跡調査を実施しています。

エコチル調査によって子ども達の成長・発達に影響を与える環境要因が明らかとなれば、化学物質規制の審査基準への反映等を通じ、より適切なリスク管理体制の構築へとつなげることができます。また、この調査を通じて、環境保健の分野における若い研究者を中心とした人材育成も期待できます。

エコチル調査の結果から、子どもの健康や成長に影響を与える環境要因を明らかにし、子ども達が健やかに成長できる環境、安心して子育てができる環境の実現を目指していきます。

エコチル調査の中心仮説及び概要

エコチル調査は、「胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が、子どもの健康に大きな影響を与えているのではないか」という中心仮説を検証するものです。

この中心仮説に基づく種々の仮説を明らかにするためには、化学物質の曝露以外の要因についても併せて検討を行う必要があります。解明すべき要因としては遺伝要因、社会要因、生活習慣要因等が想定されます。

エコチル調査の分野別仮説

妊娠・生殖	・ 環境中の化学物質への母親ならびに父親の曝露が性比に影響を及ぼす。 ・ 環境中の化学物質への曝露により、妊娠異常が生じる。 ・ 環境中の化学物質への曝露により、胎児・新生児の成長・発達異常が生じる。
先天奇形	・ 環境中の化学物質への曝露が先天奇形の発生に関与する。 ・ 先天奇形症候群の発症は、遺伝的感受性と環境中の化学物質への曝露との複合作用による。
精神神経発達	・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が直接もしくは遺伝的感受性との複合作用により、その後の発達障害及びその他の精神神経障害の発症に関与する。 ・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が直接もしくは遺伝的感受性との複合作用により、その後の精神神経発達及び症状に関与する。
免疫・アレルギー	・ 胎児期及び幼少期における化学物質への曝露が、その後のアレルギー疾患に関与する。
代謝・内分泌	・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が、その後の肥満、インスリン抵抗性、2 型糖尿病の発生に関与する。 ・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が、その後の骨量・骨密度に影響を及ぼす。 ・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が、その後の成長に影響を及ぼす。 ・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が、その後の性成熟・脳の性分化に影響を及ぼす。 ・ 胎児期及び幼少期における環境中の化学物質への曝露が、その後の甲状腺機能に影響を及ぼす。

出典：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査） 研究計画書(第 1.43 版) 表 1

**本調査の
中心仮説**

「胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が、子どもの健康に大きな影響を与えているのではないか？」

環境要因

○化学物質の曝露

残留性有機汚染物質(ダイオキシン類、PCB、有機フッ素化合物、難燃剤等)、重金属(水銀、鉛、ヒ素、カドミウム等)、内分泌攪乱物質(ビスフェノールA等)、農薬、VOC(ベンゼン等)など

○遺伝要因

○社会要因

○生活習慣要因

子どもの健康

○身体発育：

出生時体重低下、出生後の身体発育状況等

○先天奇形：

尿道下裂、停留精巣、口唇・口蓋裂、二分脊椎症、消化管閉鎖症、心室中隔欠損、染色体異常等

○性分化の異常：

性比、性器形成障害、脳の性分化等

○精神神経発達障害：

自閉症、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)等

○免疫系の異常：

小児アレルギー、アトピー、喘息等

○代謝・内分泌系の異常：

耐糖能異常、肥満等

出典：エコチル調査4周年記念シンポジウム

調査の対象とする環境要因（例示）

○ 化学物質の曝露

残留性有機汚染物質： ダイオキシン類、PCB、有機フッ素化合物、難燃剤等
重金属： 水銀、鉛、ヒ素、カドミウム等
内分泌攪乱物質： ビスフェノールA、
農薬、VOC： ベンゼン等 など

○ その他の要因(交絡因子)

◇ 遺伝要因

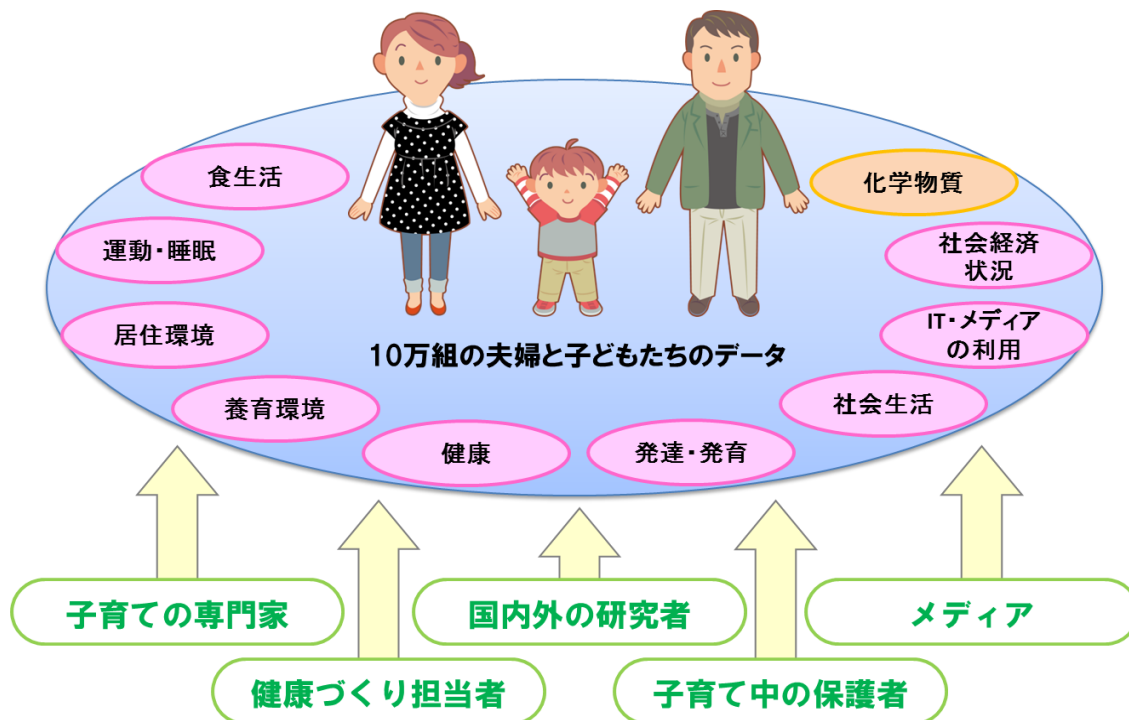
◇ 社会・生活習慣

地域(住所)、住居(種類、築年数、空調等)、両親の学歴・職業歴・収入、両親の喫煙・
飲酒、食事、家庭環境(兄弟の数、ペット等)、遊び場の環境、学校の環境等

健康影響の指標（アウトカム・エンドポイント）（例示）

- 妊 娠 ・ 生 殖 : 性比の偏り、妊娠異常、流産、死産、早期産、出生時体重低下
出生後の身体の成長発育状況等
- 先 天 異 常 : 尿道下裂、停留精巣、口唇・口蓋裂、消化管閉鎖症、
心室中隔欠損、染色体異常等
- 精 神 神 経 発 達 障 害 : 発達の遅れや偏り（精神遅滞およびその他の認知の障害）、
自閉症スペクトラム障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・
多動性障害）、性同一性障害等の精神障害等の精神障害および
その他の症状と行動特性等
- 免 疫 系 の 異 常 : アレルギー、アトピー、喘息等
- 代謝・内分泌系の異常 : 耐糖能異常、肥満、生殖器への影響、性器形成障害、
脳の性分化等

エコチル調査のデータは、みんなの宝もの



子どもたちの未来のため、みんなで、この宝ものを活用

出典：2013 年エコチル調査国際シンポジウム in 名古屋

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)とは

① 調査目的

子どもの健康に与える環境要因を解明

中心仮説・・・「胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が、
子どもの健康に大きな影響を与えているのではないか？」

② 調査方法・規模

全国で「10万組の親子」を対象とした出生児の追跡調査

出生コホート調査

③ 調査期間

平成23年1月より3年間で参加者募集

13年間追跡調査。

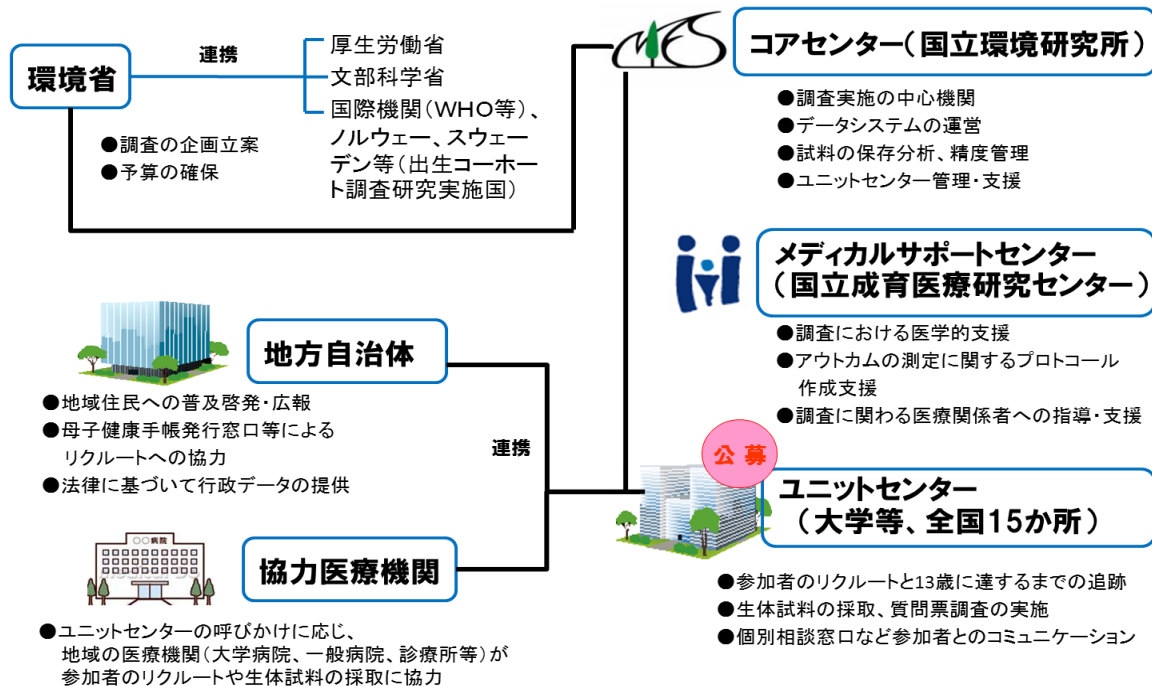
④ 期待される成果

- ① 小児の健康に影響を与える環境要因の解明
- ② 小児の脆弱性を考慮したリスク管理体制の構築
- ③ 次世代の子どもが健やかに育つ環境の実現
- ④ ライフサイエンス分野の国際競争力の確保



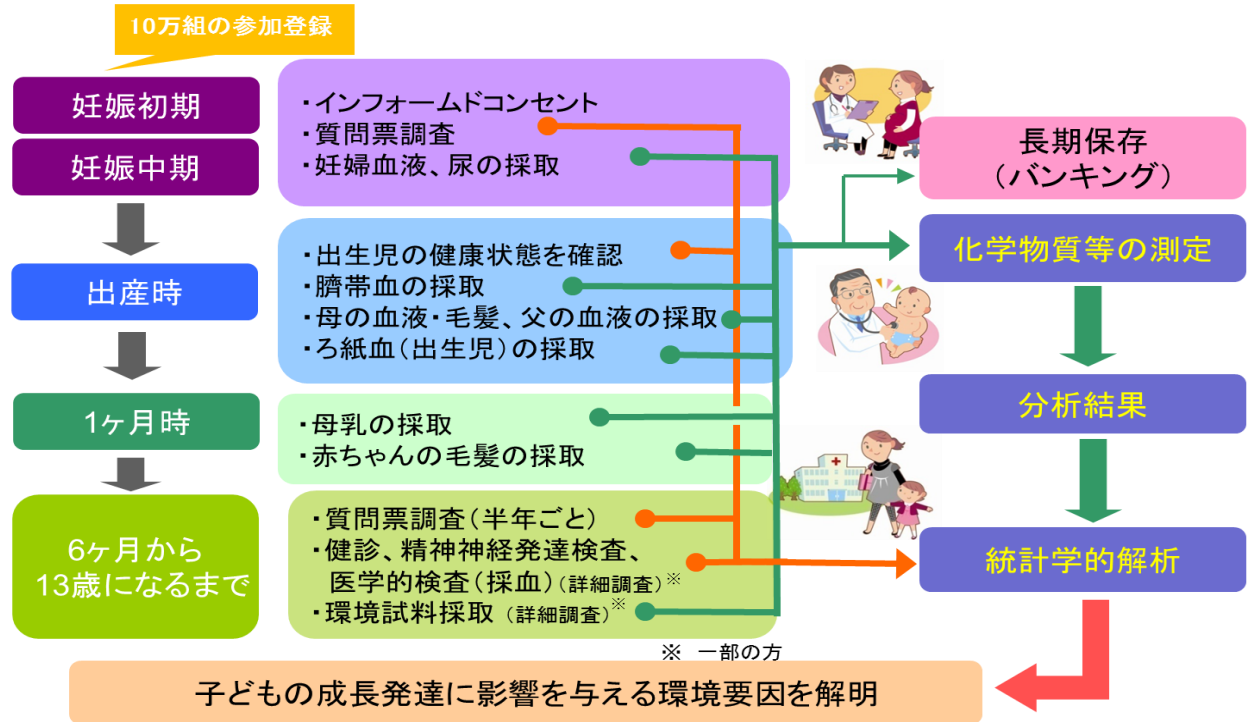
出典：エコチル調査4周年記念シンポジウム

調査実施体制



出典：エコチル調査4周年記念シンポジウム

エコチル調査の内容



出典：エコチル調査 4 周年記念シンポジウム

エコチル調査から期待される科学的効果

子どもの疾病を低減し、安心・安全な子育て環境を実現

■ 直接的成果 ■

子どもの健康に与える環境要因を解明
⇒有害環境の排除

- 化学物質の製造、輸入、使用に対する規制的措施、自主的取組の促進
- 環境基準の改定・設定

化学物質感受性・疾患・障害に関連する遺伝子の解明 ⇒ 予防

- 出生時遺伝子診断
- ハイリスク児に特化した対策

少子化対策(安全・安心な子育て)

■ 間接的成果 ■

環境要因に限らず幅広い視点からの子どもの健康研究の共通基盤を提供

日本最大の父母子の生体試料バンクとしての機能を提供

科学的・倫理的な審査を経て、産官学の幅広い研究ニーズに応える

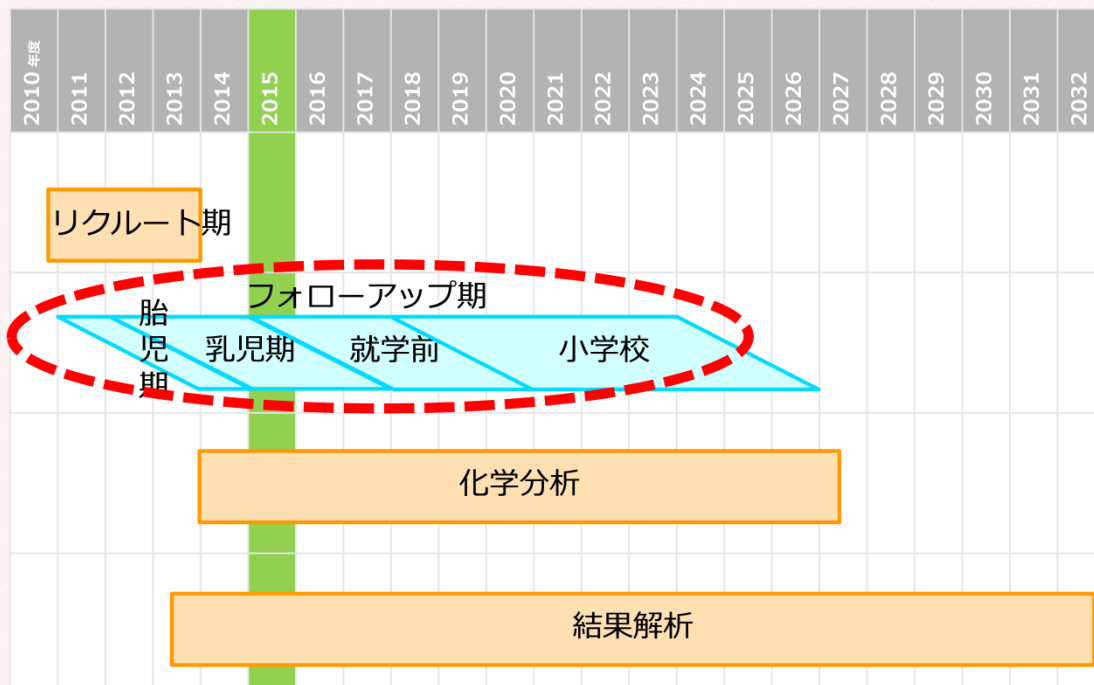
環境科学、小児保健分野における幅広い人材育成



出典：環境省

エコチル調査のいま

エコチル調査のロードマップ



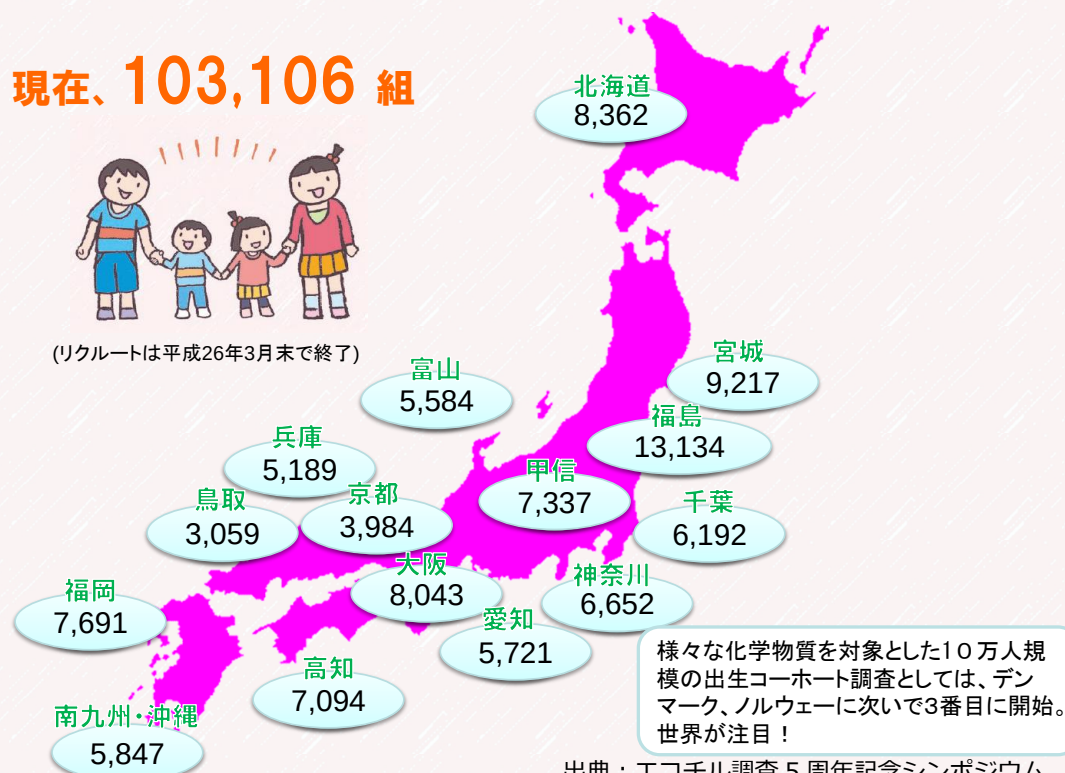
出典：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム

10万組の親子といっしょに進めるエコチル調査

現在、103,106 組



（リクルートは平成26年3月末で終了）



様々な化学物質を対象とした10万人規模の出生コホート調査としては、デンマーク、ノルウェーに次いで3番目に開始。世界が注目！

出典：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム

昨年度から、詳細調査スタート

全体調査

10万人

血液などの生体試料分析・質問票調査

ハウスダストの採取方法
—ダニアレルゲン測定のための標準集合法—



詳細調査

5000人

参加者数 4,269人
(平成27年12月末現在)



訪問調査

家庭訪問を行い、
生活環境中の
化学物質等を調査

発達検査

調査員による新版K式
発達検査を実施

医学的検査

医師による診察・
採血を実施

出典：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム

採血の工夫

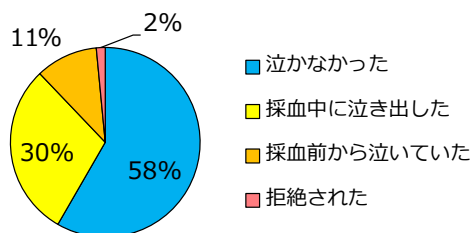
安心できる雰囲気づくり



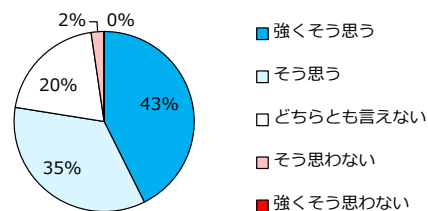
採血方法の工夫



お子さんの反応



今回の「採血のやり方」は
全ての子どもの採血に適用すべきと思う。



Yamamoto-Hanada et al. *Pediatrics International* 2015; 57: 1044-1047

出典：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム

妊娠中の喫煙は出生体重を減らす傾向

■ 約1万人の妊婦を対象にした集計結果

	母親の喫煙状況	調整後出生体重 (g)	p 値
男児	喫煙経験なし	3096.2	
	妊娠前から禁煙	3089.2	
	妊娠初期から禁煙	3068.4	
	現在も喫煙	2959.8	
		-136.4g	0.9
			0.2
			< 0.001

	母親の喫煙状況	調整後出生体重 (g)	p 値
女児	喫煙経験なし	3018.2	
	妊娠前から禁煙	3030.9	
	妊娠初期から禁煙	2978.6	
	現在も喫煙	2893.7	
		-124.5g	0.7
			0.06
			< 0.001

※調整後出生体重は、最小2乗法により共変量（父親の喫煙状況、世帯収入、出生順位、妊娠高血圧症候群、糖尿病/妊娠糖尿病、母親の妊娠前体重・妊娠中の体重増加・出産時の年齢、および妊娠期間）の調整を行い、推定。また、p 値はダネット検定により算出。

※調整後出生体重は、男児と女児それぞれ別のモデル式による推定値で、単純な平均値ではないため、男児と女児の間で調整後出生体重の差を評価することはできない。

Suzuki et al. Journal of Epidemiology 2015; in press

出典：エコチル調査5周年記念シンポジウム

成果発表の状況 (平成27年度)

1) 母親及び出生児に関する基本属性

The Japan Environment and Children's Study (JECS): A Preliminary Report on Selected Characteristics of Approximately 10 000 Pregnant Women Recruited During the First Year of the Study.

Michikawa T, Nitta H, Nakayama SF, Ono M, et al.

J Epidemiol. 2015;25(6):452-8.

2) 採血の工夫

Relieving pain and distress during venipuncture: Pilot study of the Japan Environment and Children's Study (JECS).

Yamamoto-Hanada K, Futamura M, Kitazawa H, Ohya Y, et al.

Pediatr Int. 2015;57(5):1044-7.

3) 東日本大震災時の居住地と父母のストレス

Psychological distress during pregnancy in Miyagi after the Great East Japan Earthquake: The Japan Environment and Children's Study. Watanabe Z, Iwama N, Nishigori H, Nishigori T, et al.

J Affect Disord. 2015;190:341-8.

4) 妊婦の喫煙並びに家庭内喫煙喫煙が胎児の発育抑制に及ぼす影響について

Association Between Maternal Smoking During Pregnancy and Birth Weight: An Appropriately Adjusted Model From the Japan Environment and Children's Study.

Suzuki K, Shinohara R, Sato M, Otawa S, Yamagata Z.

Journal of Epidemiology. 2016.

エコチル調査が進むと…

- 子どもたちの健全な成長・発達に、**環境要因**が与える影響が明らかになる。
- 原因となる**化学物質規制**の審査基準への反映や、適切な**リスク管理体制**の構築につなげる。



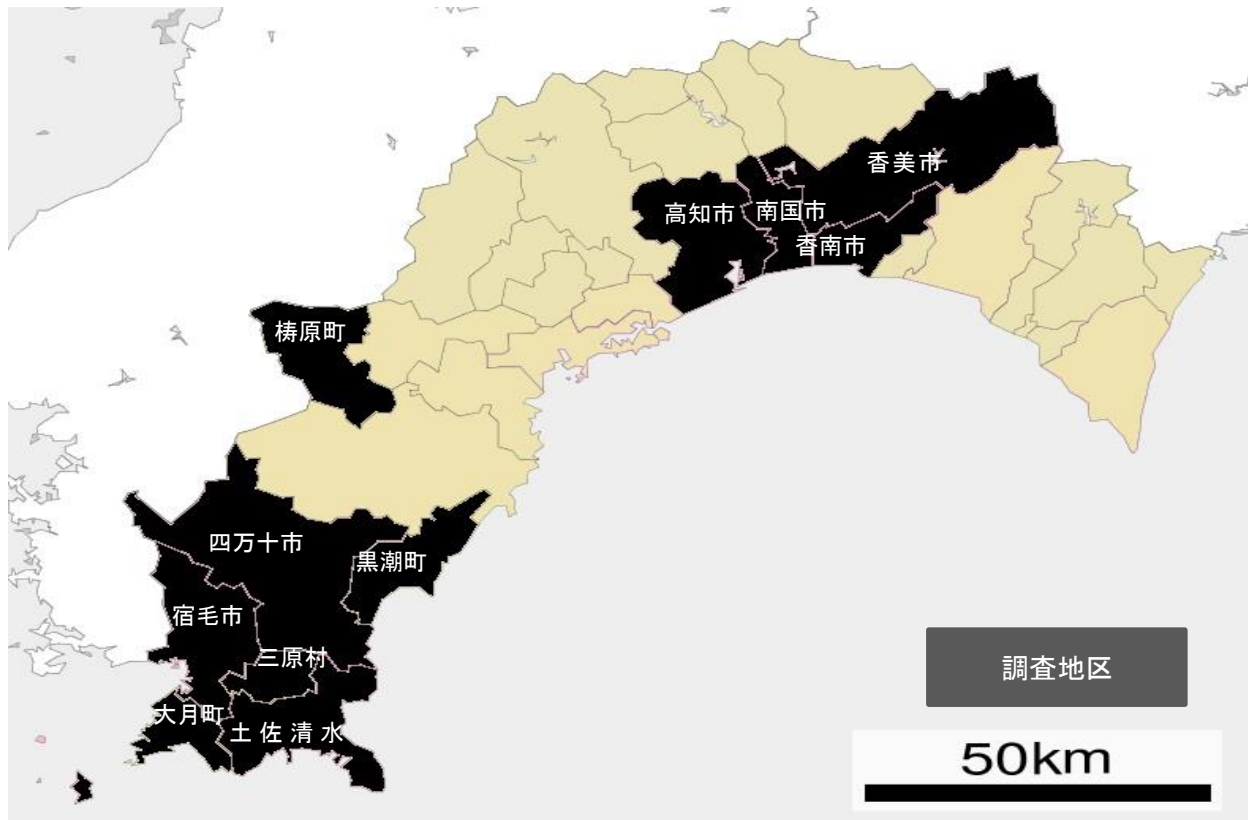
子どもが健やかに成長できる環境、
安心して子育てができる環境の実現をめざす

出典：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム

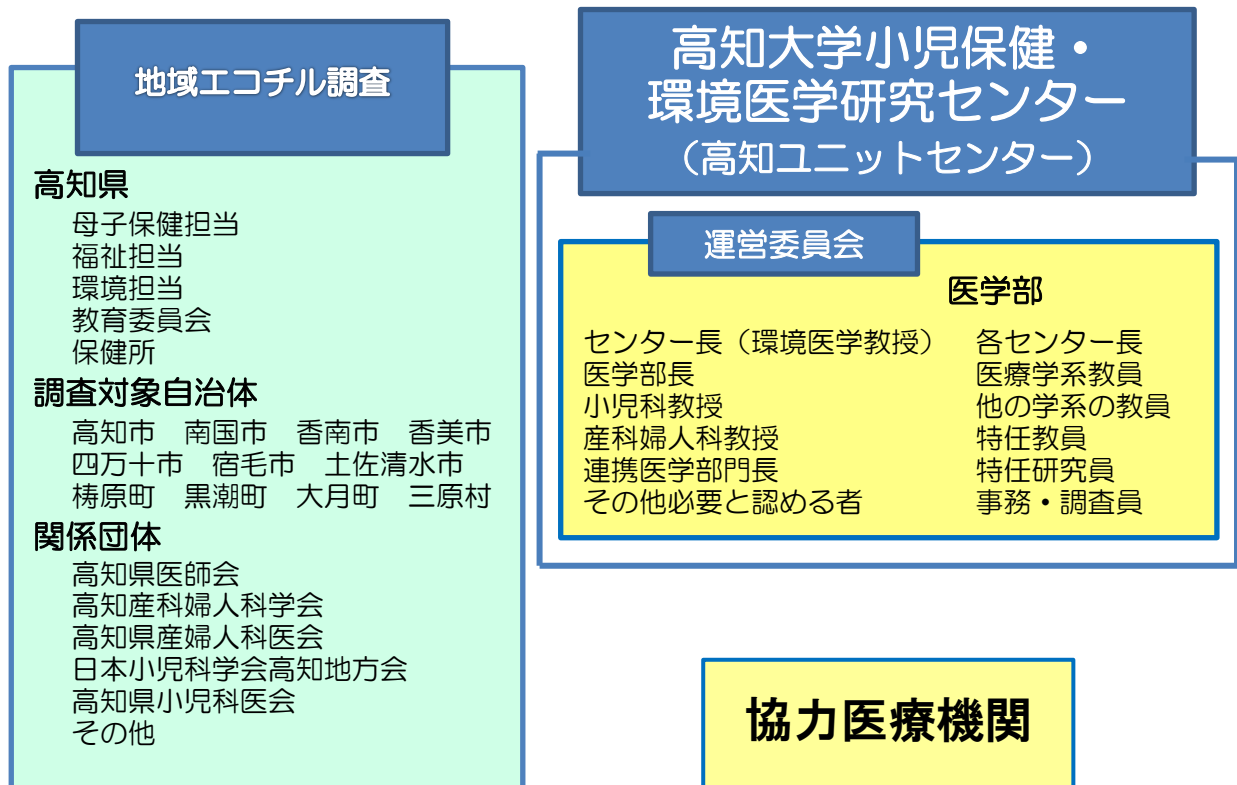
全国のユニットセンター



高知県内調査地区



こうちエコチル調査 組織図



I 主な活動年表

1. 4月9日：幡多地区医療機関訪問 詳細調査（医学・精神神経発達検査）打ち合せ
研究員1名・RC3名
2. 4月13日：詳細調査・精神神経発達検査開始
3. 4月18日：第1回 高知ユニットセンター主催 スタッフ研修開催
4. 4月21日：詳細調査・医学的検査開始
5. 4月22日：高知市役所子ども未来部母子保健課訪問
研究員1名・RC1名
6. 4月24日：第1回 運営委員会 学内メール会議開催
7. 4月24日：平成27年度予算執行調査開始（四国財務局より依頼）
8. 4月24日：宿毛市役所訪問
RC3名
9. 4月24日：第1回 中心仮説解析計画検討ワークショップ参加
（国立環境研究所大山記念ホール）
助教2名・研究員1名
10. 5月13日：四万十市役所・宿毛市役所・土佐清水市役所
黒潮町役場・三原村役場・大月町役場 訪問
研究員1名・RC2名
11. 5月20日：四万十市役所訪問
研究員1名・RC3名
12. 5月22日：平成27年度予算執行調査終了（財務省：6月30日付調査結果公表）
13. 5月22日：謝礼ポイント手続きに関する打ち合わせ（イオンモール高知）
研究員1名・RC1名
14. 6月10日：香美市役所・香南市役所訪問
研究員1名・事務局員1名
15. 6月11日：高知県地域福祉部障害保健福祉課訪問
研究員1名・事務局員1名
16. 6月30日：高知県教育委員会事務局訪問
研究員1名・事務局員1名
17. 7月29日：高知県教育委員会事務局説明会開催
ユニットセンター長
研究員1名・事務局員1名
18. 8月5日：第11回ユニットセンター連絡協議会及び平成27年度管理者研修参加
（フクラシア東京ステーション）
センター長1名・助教1名
研究員1名・職員1名・事務局員1名
19. 8月7日：第2回 中心仮説解析計画検討ワークショップ参加（AP 東京八重洲通り会議室）
助教3名・研究員1名
20. 8月8日：第3回 環境疫学フォーラム参加
（慶應義塾大学信濃町キャンパス 予防医学校舎）
研究員1名
21. 8月19日：第2回 運営委員会開催

22. 9月 3日～4日：新版 K 式現地研修開催
 (医学部看護学科棟・精神看護実習室・医学部第一会議室)
 来高者：エコチル調査コアセンター 小児健康影響調査解析・管理室室長
 国立成育医療研究センター 医師
 国立成育医療研究センター 臨床心理士
 東北大学 環境遺伝医学総合研究センター 教育学博士
 1 日目：新版 K 式発達検査の手技確認・検査内容 (DVD) 振り返り及び意見交換
 2 日目：1 日目振り返り質疑応答・新版 K 式発達検査の認定試験
 研究員 1 名・臨床心理士 1 名・RC 2 名
23. 9月 4日：第 2 回 高知ユニットセンター主催 スタッフ研修開催
24. 9月 7日：平成 27 年度スタッフ研修 東京会場参加 (フクラシア浜松町)
 RC 4 名・事務局員 2 名
25. 9月 11日：第 3 回 高知ユニットセンター主催 スタッフ研修開催
26. 9月 14日：平成 27 年度スタッフ研修 大阪会場参加 (TKP ガーデンシティ大阪梅田)
 研究員 1 名・RC 3 名・事務局員 1 名
27. 10月 13日：第 2 回 幡多地域エコチル調査運営協議会開催
28. 10月 29日：第 15 回 高知地域エコチル調査運営協議会開催
29. 10月 30日：環境省現地ヒアリング
30. 11月 7日：研究打ち合わせ及び JECS 研究協議
 (ギルバーク博士：品川プリンスホテル AP 品川アネックス F ルーム)
 センター長 1 名・研究員 1 名
31. 11月 27日：第 3 回 中心仮説解析計画検討ワークショップ参加
 (AP 東京八重洲通り会議室)
 助教 3 名・研究員 1 名
32. 12月 1日：第 3 回 運営委員会 学内メール会議開催
33. 12月 8日：エコチル調査研究打合せ (千葉ユニットセンター) 研究員 1 名
34. 12月 9日：パイロット調査見学 (自治医科大学) 研究員 1 名
35. 12月 10日：エコチル調査研究打合せ (熊本大学サブユニットセンター) 研究員 1 名
36. 12月 14日：国際アドバイザー・ボード会合参加
 (国連大学 エリザベスローズ国際会議場) 准教授 1 名・特任研究員 1 名
37. 12月 15日：第 4 回エコチル調査国際シンポジウムポスター発表
 (国連大学 ウ・タント国際会議場 3 階) 准教授 1 名・講師 1 名
 特任研究員 1 名・他 2 名

38. 1月 8日：平成 28 年度ユニットセンター委託業務に係る予算要望ヒアリング
(中央合同庁舎第 5 号館) センター長・研究推進室室長・研究員 1 名
39. 1月 16 日：エコチル調査 5 周年記念シンポジウム参加 (日本科学未来館)
センター長・研究員 1 名・RC 2 名
40. 1月 19 日：第 4 回 運営委員会開催
41. 1月 22 日：第 4 回 高知ユニットセンター主催 スタッフ研修開催
42. 1月 26 日：第 16 回 高知地域エコチル調査運営協議会開催
43. 2月 10 日：新版 K 式検査者リーダー会合参加 (AP 東京八重洲)
臨床心理士 1 名・研究員 1 名・RC 2 名
44. 2月 11 日：『こうちエコチル調査 5th Anniversary ちよるるんフェスタ』 開催
(高知市文化プラザかるぼーと大ホール) 来場者：241 組 721 名
45. 2月 18 日：第 4 回中心仮説解析計画検討ワークショップ参加 (AP 東京八重洲)
助教 2 名・研究員 1 名
46. 3月 9 日：エコチル調査次期データ管理システム研修会参加 (富士通エフサス)
RC 5 名・入力担当 4 名
47. 3月 29 日：第 12 回 ユニットセンター連絡協議会参加 (フクラシア東京ステーション)
センター長・センター長代行・研究員 1 名

Ⅱ 調査実施体制

地域エコチル調査運営協議会

調査対象地区において地方公共団体及び産婦人科医会、小児科医会、教育委員会、産科婦人科学会、小児科学会、看護協会、療育福祉センターと連携・協力体制を維持し、地域エコチル調査運営協議会を設置し、今年度も引き続き、地域エコチル調査運営協議会を2回開催した。

加えて、幡多地区においては小ブロックに分け運営協議会を1回開催した。

【地域エコチル調査運営協議会】

第15回地域エコチル調査運営協議会（平成27年10月29日開催）

○議事内容

- ・ 全体調査・ 詳細調査の進捗状況について
- ・ 予算報告（平成26年度実績と平成27年度計画）
- ・ フォローアップ計画の検討について
- ・ 質問票未回収への対応について
- ・ 人口動態調査データの閲覧作業について
- ・ 詳細調査測定結果の返却スケジュールについて
- ・ 調査の成果の発信について
- ・ 個人情報管理について（富山UIC事案）
- ・ その他

前回の審議事項『児の成長に伴う新たな協議会委員選定について』（進捗状況報告）
プロファイルペーパー

○意見交換

- ・ フォローアップ計画の検討について
- ・ 質問票未回収への対応について
- ・ 詳細調査測定結果の返却 スケジュールについて

第16回地域エコチル調査運営協議会（平成28年1月26日開催）

○議事内容

- ・ 全体調査・詳細調査の進捗状況について
- ・ エコチル調査進捗状況
- ・ 疾患情報登録進捗状況
- ・ 詳細調査進捗状況
- ・ 国際アドバイザリーボード会合・第4回国際シンポジウム
- ・ 活動報告
- ・ 論文等研究成果報告

○意見交換

- ・ 効果的なフォローアップについて
- ・ 今後の詳細調査について
- ・ 6歳以降の全体調査

第2回幡多地域エコチル調査運営協議会（平成27年10月13日開催）

○議事内容

- ・ 全体調査・詳細調査の進捗状況について
 - ・ 予算報告（平成26年度実績と平成27年度計画）
 - ・ フォローアップ計画の検討について（6歳以降）
 - ・ 質問票未回収への対応について
 - ・ 人口動態調査データの閲覧作業について
 - ・ 詳細調査測定結果の返却スケジュールについて
 - ・ 調査の成果の発信について
 - ・ 個人情報管理について（富山UC事案）
 - ・ その他
- 前回の審議事項『児の成長に伴う新たな協議会委員選定について』（進捗状況報告）
プロファイルペーパー

○意見交換

- ・ フォローアップ計画の検討について
- ・ 質問票未回収への対応について
- ・ 詳細調査測定結果の返却 スケジュールについて

調査スタッフに対する教育・研修

調査の実施に際し、参加者のフォローアップ、詳細調査、質問票の配布・回収、データシステムへの入力、問合せへの対応等を行うスタッフに対して、コアセンターが指示する研修に参加した。

また、調査実施のために必要な代行研修等の教育・研修を行った。

【高知ユニットセンター主催研修】

高知ユニットセンター主催RC認証代行研修

（平成27年6月16日～平成27年12月22日（高知大学岡豊キャンパス内））

○研修内容

- ・着任時にエコチル調査概要説明をし、DVDを使った認証取得研修及び

RC認証試験を実施（6名受講）

第1回 高知ユニットセンター主催スタッフ研修

（平成27年4月18日（高知大学朝倉キャンパス内）開催）

○研修内容

- ・詳細調査進捗報告
- ・フォローアップ率改善の取り組みについて
- ・今年度広報計画
- ・予算執行について
- ・その他

第2回 高知ユニットセンター主催スタッフ研修

（平成27年9月4日（高知大学岡豊キャンパス内）開催）

○研修内容

第1部

- ・個人情報管理について
- ・今後のフォローアップについて

第2部 講師：エコチル調査コアセンター

小児健康影響調査解析・管理室室長 中山 祥嗣 氏

- ・全体調査および今後のフォローアップについて
- ・詳細調査の中長期計画
- ・世界のコホートとJ E C S
- ・質疑応答

第3回 高知ユニットセンター主催スタッフ研修

(平成27年9月11日(高知大学朝倉キャンパス内)開催)

○研修内容

第1部 講師：総務省四国行政評価支局 情報公開・個人情報保護等推進員 古市 文雄 氏

- ・個人情報保護研修会(個人情報保護制度の概要、運用のポイント等)

第2部 講師：高知大学総合情報センター 佐々木 正人 准教授

- ・情報セキュリティ研修会

(保有する重要な電子情報の取扱いや業務におけるパソコンやメールの利用上の注意点等)

第4回 高知ユニットセンター主催スタッフ研修

(平成28年1月22日(高知大学岡豊キャンパス内)開催)

○研修内容

講師：自治医科大学医学部環境予防医学講座 香山 不二雄 教授

パイロットスタディの現状と課題点

- ・詳細調査実施について
- ・フォローアップ回収率向上に向けた取り組みについて
- ・質疑応答

○その他周知事項

- ・5周年記念イベント『ちよるるんフェスタ(調査報告会)』開催に向けて

Ⅲ 調査の進捗状況

<登録状況>

平成 28 年 3 月 31 日 参加継続児
6,797 名※

※他 UC からの転入及び転出・打切・協力取止・住居不明者数反映

<地区別継続児数>

高知市	南国市	香南市	香美市	四万十市	宿毛市	土佐清水市	梶原町	黒潮町	大月町	三原村	その他県内	その他県外
4,328	518	253	178	590	223	100	33	92	35	16	180	251

<郵送質問票のフォローアップ状況>

◆質問票未回収者への返送依頼活動

- ・ 1 ヶ月後：返送依頼はがき
- ・ 2 カ月後：参加者携帯電話に返送依頼 C メール送信
- ・ 3 カ月後：参加者に直接電話
- ・ 住所宛先不明且つ電話も音信不通の場合は転居前居住地の市役所又は町村役場にて住民基本台帳の閲覧を実施
住民基本台帳閲覧件数・・・19 件／年間

◆初回発送から 1 カ月の回収率と返送依頼後の回収率の比較表(平成 28 年 3 月 31 日時点)

初回発送から 1 ヶ月間 1 カ月後 2 カ月後 3 カ月後 最終登録件数・回収率								
郵送質問票 発送ポイント	初回発送数 (累計)	登録件数 (累計)	回収率	返送依頼① ハガキ	返送依頼② C メール	返送依頼③ 電話	返送依頼後 登録総数	返送依頼後 回収率
生後半年	6,860	5,628	82.0%	1,232	129	100	6,308	92.0%
1 歳	6,816	5,178	76.0%	1,651	326	220	6,113	89.7%
1 歳半	6,434	4,491	69.8%	1,939	456	185※	5,540	86.1%
2 歳	5,256	3,610	68.7%	1,646	482	286	4,402	83.8%
2 歳半	4,040	2,741	67.8%	1,299	437	174※	3,321	82.2%
3 歳	2,921	1,738	59.5%	1,183	517	212	2,297	78.6%
3 歳半	1,886	1,072	56.8%	814	417	135※	1,420	75.3%
4 歳	1,015	568	56.0%	447	257	89	711	70.0%
4 歳半	179	86	48.0%	93	未実施	未実施	95	53.1%

※平成 28 年 1 月より 1 歳半・2 歳半・3 歳半・4 歳半の質問票返送依頼③電話は未実施につき平成 28 年 12 月迄の累計件数

◆フォローアップ活動

・乳幼児健診訪問

相談内容／住所変更の手続き、質問票紛失等の対応、WAON カード使用方法等

※平成 28 年 3 月 17 日：香南市 2 歳児健診見学 平成 28 年 4 月より訪問開始

＜乳幼児健診会場別訪問件数＞

	高知市		南国市		香美市		四万十市		宿毛市	
	保健福祉センター		保健福祉センター		プラザ八王子		健康管理センター		文教センター	
	1 歳半	3 歳	1 歳半	3 歳 4 ヶ月	1 歳半	3 歳	1 歳 9 ヶ月	3 歳	1 歳半	3 歳
第 1 四半期 累計	7	0	3	0	0	0	3	0	1	0
第 2 四半期 累計	11	0	3	0	0	0	3	0	2	0
第 3 四半期 累計	9	6	3	1	2	2	2	2	1	1
第 4 四半期 累計	9	9	3	3	3	2	3	2	2	1
累計	36	15	12	4	5	4	11	4	6	2

他市町村の健診会場訪問は平成 28 年度以降で調整中

＜全体調査の結果返却について＞

H26 年より妊娠中後期の血中金属濃度測定が開始。H26 年度に 2 万検体の測定が終了し、H27 年度には計 4 万検体測定予定。うち血中鉛濃度が 4μg/dL を超える全国 15 例を先行返却の対象とし、うち 1 例は高知 UC にて参加者に電話にて直接連絡をし個別対応を行なった。(2015/11/10)

IV 調査の実施

インフォームドコンセントを受領した調査参加者について、以下のとおり調査を実施した。

◆全体調査（出生後 6 ヶ月以降の調査）

①質問票

コアセンターが作成した「質問票調査実施マニュアル」に基づき、以下のとおり質問票調査を行い、その回答内容をデータシステムに登録した。コアセンターから調査参加者へ 1 年に 2 回質問票を郵送し、参加者に記入いただいたうえ、ユニットセンターへ返送してもらった。

②謝礼

質問票の回収が確認され次第、調査参加者に対し、1,000 円の金券を謝礼として渡し、その記録を残した。また、生後 30 ヶ月（2 歳半）以降の質問票調査の謝礼の支払については同額を電子マネー（WAON ポイント）にて支払い、その記録を残した。

◆詳細調査

平成 26 年 10 月より、エコチル調査参加者の中から 5% を無作為に抽出（全国で約 5000 名、高知県で約 350 名）。対象となるのは、平成 25 年 4 月～平成 26 年 12 月生まれの参加児で約 1 年半かけ計 7 回に分けて抽出。本調査の質問票調査とは別に、3 つの分野で更に詳しい調査を実施。

訪問調査：平成 26 年 12 月より実施 調査員が参加者宅を訪問し、参加児の布団や室内のハウスダスト、室内外の粒子状物質（PM_{2.5} と PM_{10-2.5} 等）とガス状物質（揮発性有機化合物、アルデヒド類、オゾン、酸性ガス等）を採取するほか、家庭での化学物質の使用状況等に関する聞き取り調査を行う。この訪問調査は、参加児が 1 歳半、3 歳の時に 1 回ずつ、その後 6 歳から 13 歳になるまでの間に 1～2 回行う予定。

医学的検査：平成 27 年 4 月より実施 小児科医が診察をするほか、血液検査を免疫・アレルギー分野（非特異的 IgE、特異的 IgE、IgG、IgA）、内分泌分野（TSH、fT4、25(OH)D）、化学分析（残留性有機化合物、その他）の順位で測定。

精神神経発達検査：平成 27 年 4 月より実施 臨床心理士や訓練を受けた検査者が運動・認知・言語などについての発達検査を実施。

医学的検査・精神神経発達検査については、4 歳時にも実施。6 歳以降も 2 年毎に実施予定。

1) 詳細調査候補者のリクルート及び登録

コアセンターが作成した「詳細調査リクルートマニュアル」に基づき、適格要件を満たす詳細調査候補者の保護者に対し、詳細調査（訪問調査）に対する説明と参加依頼を行い、詳細調査（訪問調査）のインフォームドコンセントを受領した。インフォームドコンセントを受けた詳細調査参加者（子ども）について、データシステムに登録した。詳細調査（訪問調査）に対する同意文書は、紙媒体にてユニットセンターに保管した。

＜市町村別 同意数＝訪問調査(機材設置)実施数※＞

平成 28 年 3 月 31 日現在

高知市	南国市	香南市	香美市	四万十市	宿毛市	土佐清水市	梶原町	黒潮町	大月町	三原村	その他 ※1	合計 ※2
188	24	21	12	25	11	3	0	4	2	2	5	297

297 名の内機材回収までの実施件数は 294 件。3 月下旬に設置した 3 件の機材回収は H28 年度 4 月初旬に実施

※1 須崎市・土佐市・安芸市・大豊町・日高村

※2 297 名の内 2 名は、県外へ転居し協力取止

2) 調査の実施

① 訪問調査

コアセンターが作成した「詳細調査・訪問調査（環境測定）マニュアル」に基づき、以下のとおり訪問調査を行った。コアセンターが全体調査参加者の中から「詳細調査研究計画書」に基づき、無作為に抽出した一部の対象者に対して、家庭を訪問し、訪問調査（測定機器等の設置・回収や測定と聞き取り調査）を行った。結果は、コアセンターが作成した「測定結果返却・相談対応マニュアル」に基づき、必要に応じて、コアセンター等の助言を得て、測定結果の問い合わせに対応した。

謝礼は、測定機器等の設置・回収や測定と聞き取り調査に対し、3,000 円の金券を謝礼として渡し、その記録を残した。

② 医学的検査及び精神発達検査

検査のための会場を確保し、コアセンターが作成した「医学的検査・精神神経発達検査実施マニュアル」に基づき、参加者に対し医学的検査・精神神経発達検査を行った。

結果は、コアセンターが作成した「測定結果返却・相談対応マニュアル」に基づき、結果報告書として印刷し、詳細調査(医学的検査及び精神発達検査)参加者(希望者のみ)へ郵送した。必要に応じてコアセンター、メディカルサポートセンター等の助言を得て、問い合わせに対応した。

謝礼は、各検査（同時に行った場合は両検査）が終了し次第、参加者の保護者に対し、検査会場と参加者が居住する地区の距離等を考慮し、参加者謝礼表に示す額を元に金券を謝礼として渡しその記録を残した。

<医学・精神神経発達調査実施数及び進捗率> 総数 344 件

- ・医学的検査（2 歳） : 211 件（61.3%）
- ・精神神経発達検査（2 歳） : 208 件（60.4%）

<協力医療機関別実施件数>

・高知大学附属病院

- 医学的検査 : 80 件
- 精神神経発達検査 : 176 件

・幡多けんみん病院

- 医学的検査 : 32 件
- 精神神経発達検査 : 32 件

・高知医療センター

- 医学的検査 : 75 件

・J A 高知病院

- 医学的検査 : 24 件 ※平成 27 年 10 月より検査開始

<詳細調査の結果返却について> 総数 344 件

- ・訪問調査（1.5 歳） : 236 件（68.6%） 初回発送 6 月（コアセンター発送）
※ダニアレルゲン測定値データ修正中につき返却保留中
- ・医学的検査（2 歳） : 175 件（50.8%） 初回発送 11 月（ユニットセンター発送）
- ・精神神経発達検査(2 歳) : 186 件（54.0%） 初回発送 11 月（ユニットセンター発送）

V 疾患情報登録調査

先天異常（および代謝・内分泌系疾患）、川崎病、てんかん、小児がんについては、保護者記入の質問票では把握できない専門的な情報を得るため、二次調査票を用いた疾患情報登録調査を行う。二次調査票は、それぞれについて作成する。

ユニットセンターは1か月に1回、データ管理システムを使用し、6ヵ月以降の調査票で得られた対象疾患該当者を抽出する。該当者のかかりつけ医療機関に対し、二次調査票を用いた疾患情報登録の概要を説明し、登録方法に関する調整を行い、二次調査票の記入を依頼する。

<疾患情報登録抽出状況>

	川崎病	先天異常	心疾患	内分泌・代謝異常	てんかん	小児がん※	計
平成 26 年度迄	29	67	32	9	5	0	142
平成 27 年度	5	24	18	2	3	7	59
累計	34	91	50	11	8	7	201

※小児がんは平成 27 年 6 月よりデータ登録が開始され一斉に対象者が抽出されたものである。

そのため平成 26 年度末時点の件数は『0 件』である。

VI データクリーニング

収集された質問票、診療記録票等の入力済みデータに対して、コアセンターが行ったデータクリーニングによって抽出された入力ミスや不整合が疑われたデータの確認を行った。

【第2次一部固定データ】

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1. 平成25年12月 4日～12月27日 : データクリーニング作業 | 第1弾 |
| 2. 平成26年 1月10日～1月31日 : データクリーニング作業 | 第2弾 |
| 3. 平成26年 1月15日～1月31日 : データクリーニング作業 | 第3弾 |
| 4. 平成26年 3月18日～3月28日 : データクリーニング作業 | 第4弾 |
| 5. 平成26年 3月25日～4月18日 : データクリーニング作業 | 第5弾 |
| 6. 平成26年 5月13日～6月 2日 : データクリーニング作業 | 第6弾 |
| 7. 平成26年10月23日～11月28日 : データクリーニング作業 | 第7弾 |
| 8. 平成27年 2月25日～3月13日 : 第1・3・4・5・6弾 | 再確認 |

【出産時全固定データ】

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 平成27年 7月30日～8月28日 : データクリーニング作業 | 第1弾 |
| 2. 平成27年10月21日～11月30日 : データクリーニング作業 | 第2弾 |
| 3. 平成27年12月 9日～12月 9日 : データクリーニング作業 | 協力取止分 |
| 4. 平成28年 2月 1日～2月26日 : データクリーニング作業 | 最終 |

VII 問い合わせ対応

参加者からの問い合わせに対する窓口を設置し、コアセンターが作成した「問合せ対応マニュアル」に基づき、コアセンターが設置するコールセンターと連携して対応した。特に、参加者の個人情報を踏まえた対応が必要な健康相談、謝礼の支払い状況等に関する問い合わせやクレームについては、ユニットセンターが中心となって対応した。

問い合わせ対応履歴（平成 28 年 3 月末現在）

分類	件数
質問票	36 件
質問票（再送依頼）	47 件
登録内容変更	51 件
詳細調査	30 件
同意撤回	12 件
謝礼	31 件
謝礼（WAON カード使用について）	16 件
広報関連	10 件
他 UC	20 件
その他参加者以外	14 件
間違い電話	0 件
合計	267 件

VIII リスク管理

コアセンターが作成した「リスク管理・危機管理マニュアル」に基づき、リスク管理体制を整備し、各リスクに応じた顕在化防止策、顕在化後の対応策を用意し、適正なリスク管理を行った。

事故等トラブル事例の発生と対応状況（平成 28 年 3 月末現在）

1. システム登録に関する事例と対応

事例	対応	状況
PDF ドキュメント添 付時のミス * 5 件	☐ OCR 詳細帳票を PDF 化	対応終了

2. 生体試料の提出・回収・保管に関する事例と対応

事例	対応	状況
生体試料回収遅延 * 1 件	☐ 医療機関の冷蔵庫に保管していた生体試料が回収 日変更の連絡ミスの為、3 日後に回収された ☐ コアセンターの指示のもと提出	対応終了

IX 高知ユニットセンター調査スタッフの教育・研修

調査の実施に際し、参加者のフォローアップ、詳細調査、質問票の配布・回収、データシステムへの入力、問合せへの対応等を行うスタッフに対して、コアセンターが主催する研修に参加した。

また、調査実施のために必要な代行研修による教育・ユニットセンター主催研修を行った。

X 学会発表

1. 第88回 日本小児科学会高知地方会

発表日：平成27年 9月 13日

場 所：高知医療センターくろしおホール

演 題：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）進捗報告および今後の展望

2. 第74回 日本公衆衛生学会総会

発表日：平成27年 11月 4日

場 所：長崎ブリックホール

演 題：エコチル調査高知ユニットセンターにおけるフォローアップの状況と今後の課題について

3. 第18回 環境ホルモン学会研究発表会

発表日：平成27年 12月 11日

場 所：自治医科大学

演 題：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）
高知ユニットセンターにおける進捗報告

4. 第89回 日本小児科学会高知地方会

発表日：平成28年 2月 21日

場 所：オリエントホテル高知

演 題：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）進捗報告および今後の展望

【その他発表】

1. エコチル調査報告会 5周年記念イベントちよるるんフェスタ

発表日：平成28年2月11日

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

演 題：こうちエコチル調査で分かってきたこと

【先端医療学コース（エコチル研究班）】

最先端医療の開発を目指し、独自性の高いリサーチマインドをもった医師・医学者を育成するという目的のもと行なわれている教育プログラムに、本学医学部医学科 3 年生 4 名、2 年生 1 名が出席。エコチル調査の運営参加を通じて社会医学の教育研究を実践するとともに、学内でのエコチル調査の浸透を図った。平成 27 年 2 月 17～18 日には Kochi Medical School Research Meeting にて、本調査の進捗率を発表。

【追加調査】

1. 「乳児期の感染症及びアレルギー疾患の防御因子としての母乳栄養

－母乳栄養を促す支援のあり方の検討－

- 妊娠期の母乳育児に関する意識調査
- 平成26年4月より開始
- 高知県内の協力医療機関にて質問票調査実施（集計数：955）
- 単純集計済
- 平成 28 年度以降、エコチル調査本調査の固定データと結合後データ解析予定

2. 「残余試料の保管」

- 計 4704 検体（母親の血液・尿、臍帯血、父親の血液）を高知ユニットセンターにて凍結保存開始

3. 「M-CHAT 及び ESSENCE-Q 質問票による ASD 等神経発達障害早期発見

および環境化学物質・社会的科学要因の発達障害への影響解明」

- 平成 28 年度より開始予定

【研究打ち合わせ】

1. 平成27年11月 7日（於東京）

詳細調査・精神神経発達検査についての研究打ち合わせ

クリストファー・ギルバーグ博士

【全国データを利用した成果発表予定リスト（中心仮説に関わらないもの）】

※()内、三桁の採択番号は、今後番号の変更有り

採択番号 (整理番号)	発表可能時期 (予定)	論文テーマ	執筆責任者	
			UC 名	氏名
16	2016 年以降 (2016/06 1 歳までの データ全固定後)	産科的異常が精神神経発達障害与える影響について	高知	菅沼 成文
23	2016 年以降 (2016/06 1 歳までの データ全固定後)	母親および父親の年齢と自閉症、自閉症スペクトラム障害の関連性について	高知	森信 繁
53	(1)2015 年 3 月末 (第 1 次または第 2 次 一部固定データ利用) (2)出産までの全データ (M-T1~0m) の 全固定後 1 年以内	母親の妊娠中の適正体重への意識および食生活と妊娠時における体格指標ならびに児の成長・出生アウトカムの関係	高知 愛知 宮城	南 まりな 鈴木 日美子 龍田 希 仲井 邦彦
89	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	つわりの程度とライフスタイルの関連性について	高知	満田 直美
90	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	つわりの程度と出生児の先天異常の関連性について	高知	満田 直美
91	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	つわりの程度と流産、早産の関連性について	高知	満田 直美
※(468)	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	パートナーからのDVが先天異常に与える影響について	高知	小森 香
※(475)	(1)出産までのデータの 全固定後 1 年以内 (2)1 歳時データの 全固定後 1 年以内 (3)2 歳時データの 全固定後 1 年以内 (4)3 歳時データの 全固定後 1 年以内	育児や母親の社会的つながり、児に対する愛着が児の発達に与える影響	高知	藤枝 幹也
※(477)	出産までのデータの 全固定後 1 年半以降	主食変化と胎児への影響	高知	渡邊 理史
※(478)	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	$\omega 3$ 系脂肪酸摂取と早産予防との関係	高知	永井 立平
※(511)	出産までのデータの 全固定後 1 年以内	分娩経験の次回分娩までの期間への影響	高知	阪口 昌彦

採 択 数：全国 106件 うち高知ユニットセンター 12件

審査待ち：全国 75件 うち高知ユニットセンター 11件

XI 業務担当者（平成 28 年 3 月 31 日現在）

役 職	氏 名	担 当
教育研究部医療学系連携医学部門 教授	菅沼 成文	ユニットセンター長
医学部医療学(環境医学) 特任准教授	清澤 秀孔	センター長代行・調査研究担当 情報管理責任者・リスク管理責任者
教育研究部医療学系臨床医学部門 教授	藤枝 幹也	小児追跡調査・詳細調査 調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 助教	松下 憲司	小児追跡調査・詳細調査 調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 助教	大石 拓	小児追跡調査・詳細調査 調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 助教	三浦 紀子	小児追跡調査・詳細調査 調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 教授	前田 長正	調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 講師	池上 信夫	調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 講師	泉谷 知明	調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 特任助教	渡邊 理史	調査研究担当
教育研究部医療学系臨床医学部門 教授	森信 繁	精神神経発達調査・調査研究担当
教育研究部人文社会科学系教育学部門 教授	寺田 信一	精神神経発達調査・調査研究担当
教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授	是永 かな子	精神神経発達調査・調査研究担当
教育研究部人文社会科学系教育学部門 講師	鈴木 恵太	精神神経発達調査・調査研究担当 新版 K 式発達検査リーダー
医学部 附属医学情報センター 助教	片岡 浩巳	調査研究担当
事務局医学部・病院事務部総務企画課長	高橋 聡	事務担当
事務局医学部・病院事務部総務企画課研究推進室長	正木 博	事務担当
事務局医学部・病院事務部総務企画課研究推進室	水口 知子	事務担当
事務局医学部・病院事務部会計課長	浦田 明宏	事務担当
医学部附属病院 医療補佐員	麻田 千栄子	生体試料採取
医学部医療学(環境医学) 特任研究員	安光 ヲウリル 香保子	調査実務責任者・調査研究担当 広報担当
医学部医療学(環境医学) 特任研究員	南 まりな	調査研究担当
医学部医療学(環境医学) 特任研究員	今中 桃	調査研究担当
医学部医療学(環境医学) 特任研究員	小森 香	精神神経発達検査・調査研究担当

役 職	氏 名	担 当
医学部医療学(環境医学) 特任研究員	満田 直美	医学的検査・調査研究担当
医学部医療学(環境医学) (R C) 特任看護職員	茅原 泰子	詳細調査(医学・精神神経発達検査) 医学的検査進行責任者
医学部医療学(環境医学) (R C)	藤本 雅子	詳細調査(医学・精神神経発達検査)
医学部医療学(環境医学) (R C)	池内 寛子	詳細調査(医学・精神神経発達検査)
医学部医療学(環境医学) (R C)	田村 亜紗子	詳細調査(医学・精神神経発達検査)
医学部医療学(環境医学) 事務補佐員	楠瀬 貴子	事務担当
医学部医療学(環境医学) 事務補佐員	西内 由佳	事務担当
医学部医療学(環境医学) 事務補佐員	岡村 ひとみ	事務担当
医学部医療学(環境医学) 事務補佐員	岩村 香織	事務担当
医学部医療学(環境医学) 事務補佐員	大薮 佳代	データシステム操作管理者
医学部医療学(環境医学) (R C)	野田 久美	フォローアップ業務
医学部医療学(環境医学) (R C)	篠原 節江	詳細調査リクルート・訪問調査
医学部医療学(環境医学) (R C)	野口 由美	詳細調査リクルート・訪問調査
医学部医療学(環境医学) (R C)	箭野 美砂	詳細調査リクルート・訪問調査
医学部医療学(環境医学) (R C)	岡本 佳代	詳細調査リクルート・訪問調査
医学部医療学(環境医学) (R C)	橋本 かおり	詳細調査(幡多地区担当)
医学部医療学(環境医学) (R C)	武市 ゆきの	フォローアップ(広報)・詳細調査担当
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	鴨田 知美	事務担当
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	石本 美智子	データシステム操作管理補佐 データ入力担当
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	上村 恭子	事務担当
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	藤本 由佳	事務担当
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	森本 美穂	事務担当(広報事務)
医学部医療学(環境医学)事務補佐員 (R C)	矢崎 なな	フォローアップ業務
医学部医療学(環境医学)事務補佐員	城武 貴実子	事務担当
医学部医療学(環境医学)事務補助者	高橋 智子	データ入力担当・訪問調査補助
医学部医療学(環境医学)事務補助者	廣瀬 砂里	データ入力担当・訪問調査補助
医学部医療学(環境医学)事務補助者	船口 知美	詳細調査補助(幡多地区担当)
医学部医療学(環境医学)事務補助者	伊與田 優子	フォローアップ業務補助

XII 広報活動

<広報実績まとめ>

平成 27 年度		備 考
T V C M	1 回	【R K C】1 回
ニュースレター(広報誌)	2 回	【ちよるるん News】vol.6、vol.7
新聞記事	5 回	【高知新聞】朝刊 2 回、夕刊 3 回
雑誌	1 回	【お母さん業界新聞】広告掲載
イベント	10 回	【主催】4 回、【ブース出展】6 回

報道履歴(詳細)

平成27年 5月 26日	お母さん業界新聞 高知版 広告掲載
平成27年 9月 22日	高知新聞 朝刊 参加者イベント「ちよるるんクラブ(幡多会場)」掲載
平成27年12月 28日	R K C高知放送 エコチル調査T V C M
平成28年 1月 7日	高知新聞 夕刊 環境省調査 妊婦喫煙リスク報告
平成28年 1月 12日	高知新聞 夕刊 環境省調査 3歳児の睡眠不足、発育影響報告 ※1月6日に環境省にて開催されたメディア報告会の内容に基づいた記事。 全国各紙、メディアなどで報道。
平成28年 2月 12日	高知新聞 朝刊 エコチル調査 5周年記念イベント掲載
平成28年 2月 15日	高知新聞 夕刊 コラム「話題」エコチル高知県の子どもは睡眠不足? 掲載
平成28年 3月 28日	テレビ高知「テレっちのたまご」こうちエコチル調査イメージソング 「Gift〜ココロをつなぐ愛のウタ〜」 L I V E 放送

イベント履歴(詳細)

平成27年 4月 12日	高知新聞企業『第85回 赤ちゃん会(高知会場)』ブース出展
平成27年 4月 29日	高知新聞企業『第85回 赤ちゃん会(幡多会場)』ブース出展
平成27年 7月 25日・26日	R K C主催『すこやか 2015』ブース出展 ➤ 入場者数 21,329 人 ➤ エコチルブース立寄り数 599 組 ➤ アンケート回収 599 件
平成27年 7月 26日	宿毛市『子どもフェスティバルすくも』ブース出展 認知度アンケート
平成27年 8月 30日	参加者限定イベント『ちよるるんクラブ』 高知会場; 弥右衛門ふれあいセンター

- 平成 27 年 9 月 12 日 参加者限定イベント『ちよるるんクラブ』
 幡多会場；四万十市立健康管理センター
- 平成 27 年 9 月 27 日 参加者限定イベント『ちよるるんクラブ』
 南国会場；南国市保健福祉センター
- 平成 27 年 11 月 3 日 高知県少子対策課主催『高知家ハッピーフェスティバル』ブース出展
 ➤ ブース立寄り数 119 組
 ➤ アンケート回収 119 件
- 平成 27 年 12 月 6 日 高知大学主催『第 18 回 青少年のための科学の祭典』ブース出展
- 平成 28 年 2 月 11 日 こうちエコチル調査 5 周年記念イベント『ちよるるんフェスタ』開催
 高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール
 『エコチル調査報告会～エコチル調査でわかってきたこと～』と歌のコンサート
 ➤ 動 員 数 約 800 人動員
 ➤ 申し込み数 332 組（1204 名）
 ➤ 当 選 者 数 288 組
 ➤ 落 選 者 数 44 組
 ➤ 当日来場者数 241 組
 ➤ アンケート回収 179 枚

その他

- 広報誌「ちよるるん News」vol.6 発行 平成 27 年 7 月
- 広報誌「ちよるるん News」vol.7 発行 平成 27 年 12 月
- 高知ユニットセンター活動紹介のパネル展示
 「第 4 回エコチル調査国際シンポジウム
 『子どもの環境に関する大規模出生コホート調査の現状と課題、』に於いて
 平成 27 年 12 月 15 日 国連大学ウ・タント国際会議場（東京都）
- 高知ユニットセンター活動紹介のパネル展示
 「エコチル調査 5 周年記念シンポジウム」に於いて
 平成 28 年 1 月 16 日 日本科学未来館（東京都）
- 「エコチル調査報告書 高知版」創刊号発行 平成 27 年 12 月
- 調査報告会『調査の進捗と質問票でわかってきたこと、と 活動紹介のパネル展示
 「こうちエコチル調査 5 周年記念イベント『ちよるるんフェスタ』」に於いて
 平成 28 年 2 月 11 日 かるぽーと大ホール（高知県）
- オフィシャルブログ更新 ホームページ内にて月 1～2 回随時更新

広報評価

実施方法：「すこやか 2014」エコチルブースでのアンケート

※イベント総集客数 29,831 人

「すこやか 2015」エコチルブースでのアンケート

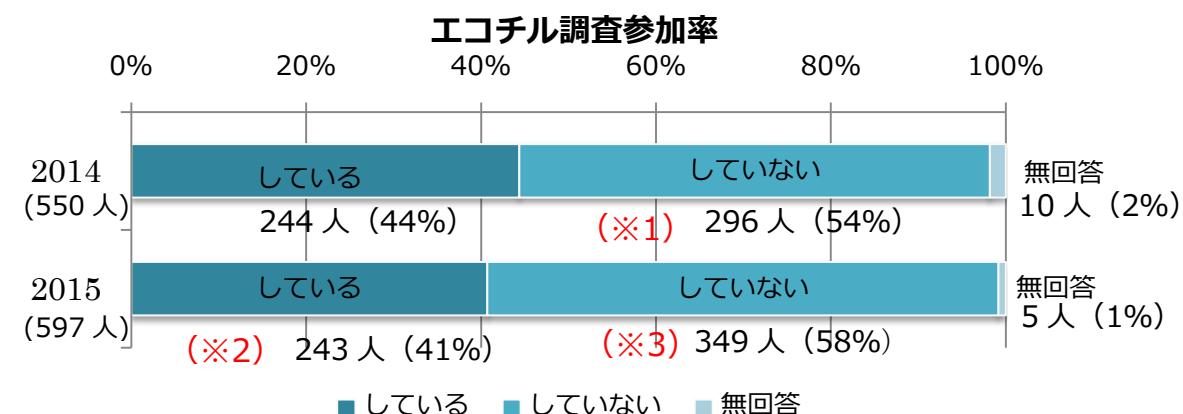
※イベント総集客数 21,329 人

調査日： 2014年7月26日、27日（すこやか 2014）

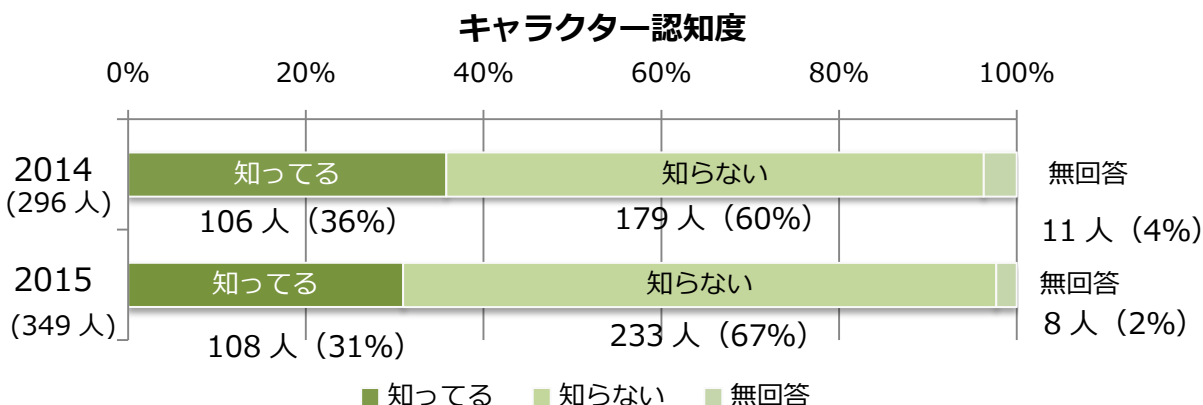
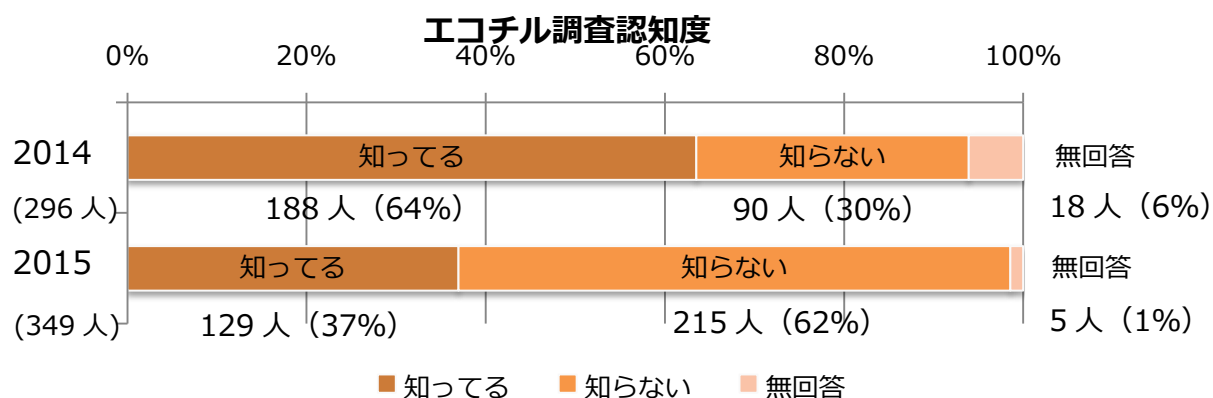
2015年7月25日、26日（すこやか 2015）

アンケート回答数： 550 人（すこやか 2014）

597 人（すこやか 2015）

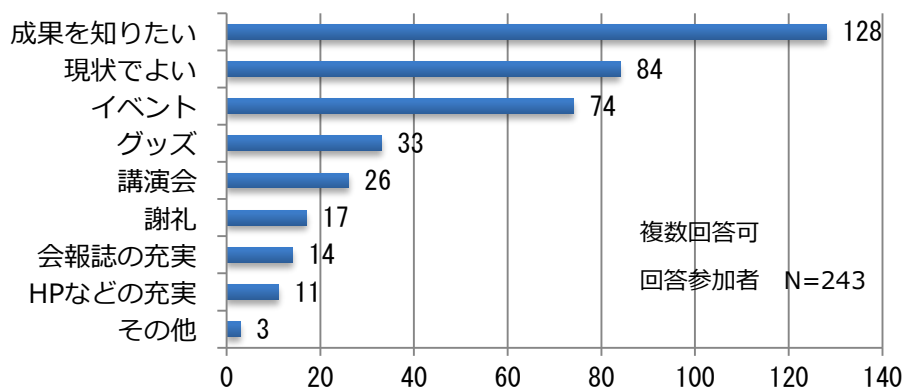


● エコチル調査に参加されていない一般の方（※1）（※3）への認知度調査

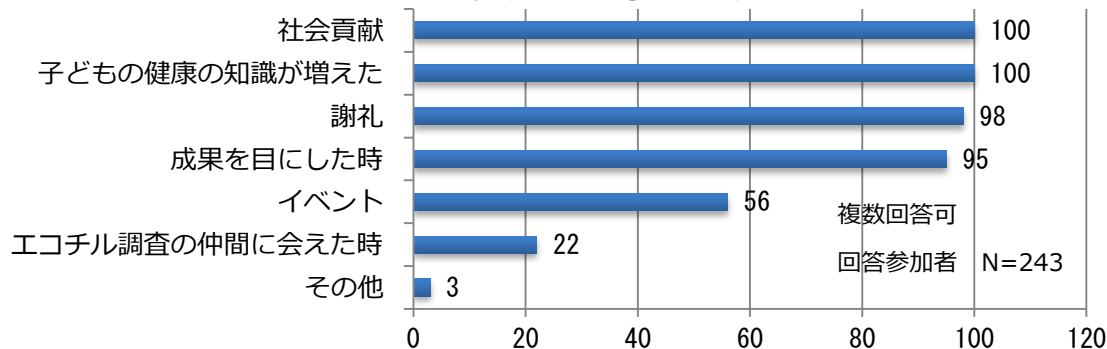


● **エコチル調査参加者（※2）への質問の回答（すこやか 2015 より）**

調査に期待する事

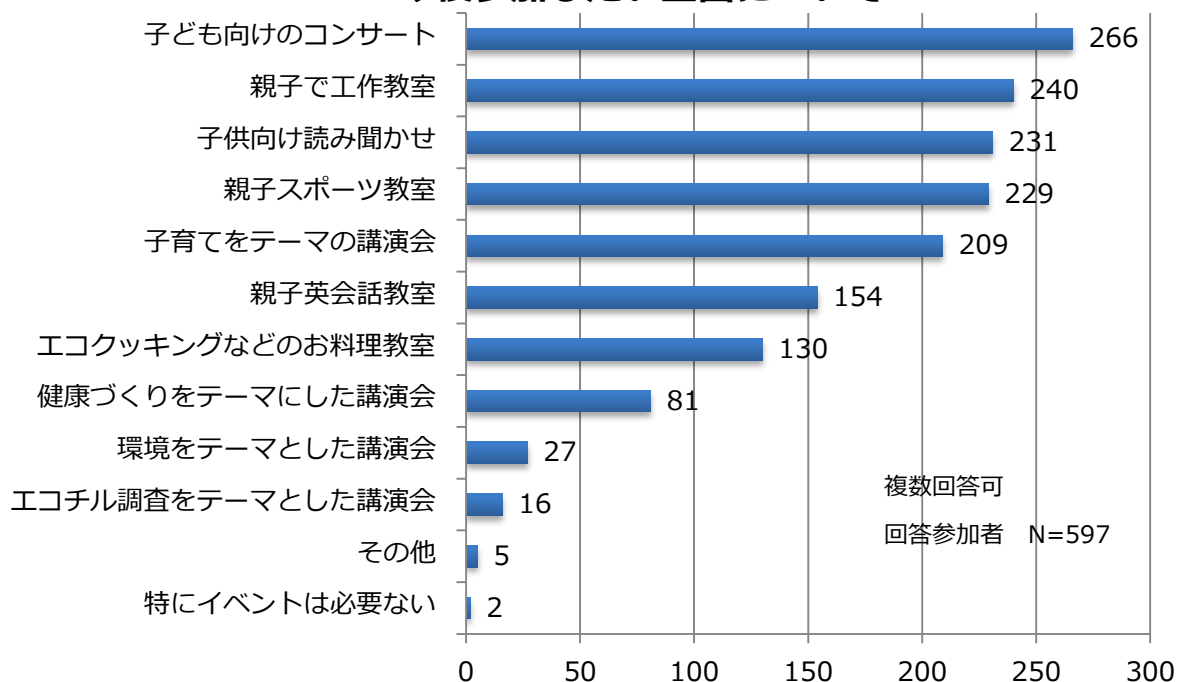


調査に参加してよかったこと



● **アンケート回答者全員（※2）（※3）への質問（すこやか 2015 より）**

今後参加したい企画について



分析結果

平成 26 年 3 月に本調査の参加募集が終了してからは、広報活動は参加者向けが中心で、テレビ CM 等もなかったためか、7 月に「すこやか 2015」で実施されたアンケートでは、一般の方の本調査認知度（37%）及びキャラクター認知度（31%）は前年度に比べ減少した。参加者の回答では、調査へ期待することとして「成果を知りたい」が最も高く、イベントについては、子ども・親子向けの企画希望が多かった。

5 周年記念イベント（2 月開催）で報告された集計結果が高知新聞に取材されたように、広報活動については、参加者・一般向けともに積極的に成果発表を取り入れていくことが、平成 28 年度以降の課題となる。

東京新聞 朝刊

妊婦の喫煙 子の成長阻害

妊婦中にたばこを吸い続けた母親から生まれた赤ちゃんは、吸わない女性の子と比較して出生時の体重が平均して約100g以上少ないことが、環境省が公表した調査結果で分かった。分析した調査結果で分かった。分析した山梨大によると、全国の九千人超の子を対象としており、これだけの大規模な調査で妊婦の喫煙が出生体重に及ぼす影響を明らかにしたのは国内で初めて。

妊婦中の喫煙は、胎児への酸素や栄養の供給を減らし、成長を阻害するとされている。山梨大の山梨大朗教授は「出生体重が少ないと将来的に肥満や心臓病のリスクが高まる。妊娠に気づいたら、早く禁煙するほど子どもへの影響は小さくなる」と指摘している。

二〇一一年に生まれた男女九

出生時、低体重に 将来は肥満リスク

千三百六十九人のデータを解析。経済状況や母親の体重など、関係が示唆される要因を調整した上で出生体重を推定した。男児では、喫煙経験のない母親から生まれた子の体重が約三〇九六gだったのに対し、妊婦中も吸い続けた女性の子は約二九七八g。妊婦初期にやめた場合は三〇六八gだった。

女児では、喫煙経験のない母親の子が約三〇一八gに対し、妊婦中も吸い続けた女性の子は約二八九三g。妊婦初期にやめた場合は三〇六八gだった。

環境省が子どもの病気や健康に与える影響を調べるエコチル調査の一環で実施した。結果は疫学専門誌に近く掲載される。

9000人調査で国内初確認

産経新聞 朝刊

妊娠中喫煙で 体重少ない子

9000人調査 国内初確認

妊婦中にたばこを吸い続け、母親から生まれた赤ちゃんは、吸わない女性の子と比較して出生時の体重が平均して100g以上少ないことが6日、環境省が公表した調査結果で分かった。分析した山梨大によると、全国の9千人超の子を対象としており、これだけの大規模な調査で妊婦の喫煙が出生体重に及ぼす影響を明らかにしたのは国内で初めて。

妊婦中の喫煙は、胎児への酸素や栄養の供給を減らし、成長を阻害するとされている。山梨大の山梨大朗教授は「出生体重が少ないと将来的に肥満や心臓病のリスクが高まる。妊娠に気づいたら、早く禁煙するほど子どもへの影響は小さくなる」と指摘している。

平成23年に生まれた男女9369人のデータを解析。経済状況や母親の体重など、関係が示唆される要因を調整した上で出生体重を推定した。

男児では、喫煙経験のない母親から生まれた子の体重が約3096gだったのに対し、妊婦中も吸い続けた女性の子は約2978g。妊婦初期にやめた場合は3068gだった。

女児では、喫煙経験のない母親の子が約3018gに対し、妊婦中も吸い続けた女性の子は約2893g。妊婦初期にやめた場合は3068gだった。

環境省が子どもの病気や健康に与える影響を調べるエコチル調査の一環で実施した。結果は疫学専門誌に近く掲載される。

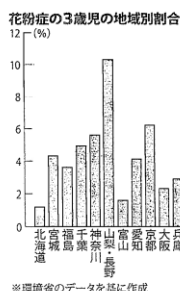
毎日新聞 朝刊

子どもの健康 環境省10万組調査

妊婦中の女性の喫煙率が低く、より低体重の子が生まれることが、環境省の調査結果で明らかになった。妊婦中も喫煙を続けても、子の低体重につながる可能性が低れた。喫煙期間生まれの子の低体重に及ぼす影響が、喫煙期間が長いほど、低体重の傾向が強いことが分かった。喫煙期間が長いほど、低体重の傾向が強いことが分かった。喫煙期間が長いほど、低体重の傾向が強いことが分かった。

【分析】 子どもの健康と環境に関する調査（エコチル調査）に協力する全国の妊婦8000人から生まれた子（2011年1月）を対象に、妊婦中の喫煙状況を調査した。その結果、妊婦中も喫煙を続けた場合、子どもの出生体重が平均して約100g以上少ないことが分かった。喫煙期間が長いほど、低体重の傾向が強いことが分かった。喫煙期間が長いほど、低体重の傾向が強いことが分かった。

妊婦9369人分析で判明



エコチル調査 化学物質や環境が子どもの健康に与える影響を調べるため、妊娠初期から子どもが13歳になるまで追跡する。2011年1月に調査を始め、現在の登録している母子は10万3106組。母子の血液や毛髪、半年ごとのアンケートなどを継続的に調べ、子の成長に影響する環境要因を32年までに解析する。

長期喫煙ほど低体重児傾向

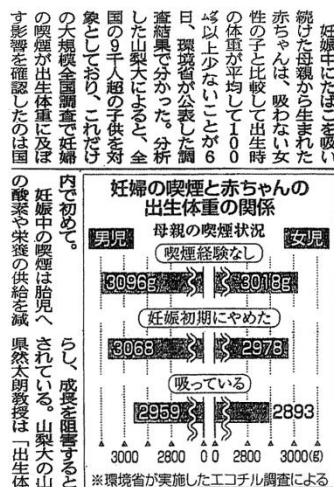
3歳児の花柳症 山梨・長野最多

また、エコチル調査に基づき、3歳児は全体（回答者2万）の健康状態や生活習慣を調査した。その結果、山梨・長野で最も多いことが分かった。山梨・長野で最も多いことが分かった。山梨・長野で最も多いことが分かった。

日本経済新聞 朝刊

喫煙妊婦の子 体重少なく

環境省大規模調査 出生時100g以上



妊婦中にたばこを吸い続け、母親から生まれた赤ちゃんは、吸わない女性の子と比較して出生時の体重が平均して約100g以上少ないことが6日、環境省が公表した調査結果で分かった。分析した山梨大によると、全国の9千人超の子を対象としており、これだけの大規模な調査で妊婦の喫煙が出生体重に及ぼす影響を明らかにしたのは国内で初めて。

妊婦中の喫煙は、胎児への酸素や栄養の供給を減らし、成長を阻害するとされている。山梨大の山梨大朗教授は「出生体重が少ないと将来的に肥満や心臓病のリスクが高まる。妊娠に気づいたら、早く禁煙するほど子どもへの影響は小さくなる」と指摘している。

平成23年に生まれた男女9369人のデータを解析。経済状況や母親の体重など、関係が示唆される要因を調整した上で出生体重を推定した。

参加者限定イベント「ちょるるんクラブ」バルーンアート教室

南国会場



高知会場



幡多会場



「エコチル」参加親子
バルーン教室満喫
四万十市

化学物質が子どもの成長に与える影響を調べる「エコチル調査」に参加している、幡多地域の親子に向けてこのほど、「バルーンアート教室」が四万十市中村東町1丁目の市立健康管理センターで開かれた。写真。

エコチルは環境省の事業。「胎児から小児期に化学物質などにさらされること、精神神経の発達やアレルギーなどに影響しているのではないか」という仮説の解明を目指し、生活環境を含めた幅広い要因について追跡調査している。

2011年から協力する妊婦を募集し、全国約10万人、県内約7千人が登録して、定期的なアンケートや訪問調査を展開。継続的に協力してもらうため対象者向けのイベントも開いている。

教室には親子約40人が参加し、講師のバルーンアーティスト「高知市IIがバルーンアートを披露。その後、母親や父親に剣を簡単な作品の作り方を指導した。宿毛市の田中明子さん36歳と10カ月の2人が調査に参加。「幡多は土日の子ども向けイベントが少なく、参加して良かった」と話していた。

(笹島康仁)



高知新聞 朝刊 掲載

こうちエコチル調査

Vol.06

こうちエコチル調査 会報誌

News

高知大学

Event

イベントの開催形式

今年も「ちよるんクラブ」を開催します。第2弾の今回は、バーンキータキによる「バーンキータキ教室」です。お申込みは「ちよるんクラブ」ではなく、ちよるんバーンキータキ（ちよるんキータキ）のページからお申し込みをお願いします。

【高学年会】8月30日（日）10:30～12:00
 弥生館門ふれあいセンター

【場中会】9月12日（土）10:30～12:00
 西万市立健康福祉管理センター
 （市民病院併設）

【南国会】9月27日（土）10:30～12:00
 南国市保健福祉センター

「ちよるんクラブ」参加者募集!




お申し込み方法

「ちよるんクラブ」ホームページの、「ちよるんクラブ」参加募集ページへアクセスして「お申込みお申し込みフォーム」からお申し込みください。

お申し込み受付終了後の方には「ご案内ハガキ」を郵送します。

【各会場】

参加者募集要項

参加料・資料
 会場費 参加費 0円（完備）
 教材費 0円

お申し込み方法

お申し込みは、お申し込みのページからお申し込みください。

ホームページはコチラです → <http://kachi-ecchi.jp/> 検索ワードは「ちよるんクラブ」

[illegible]

44

こうちエコチル調査発刊 ニュースレター 「ちよるるんNews vol.7」



おしえて 小森先生

最近耳にする「ADHD」について

【「衝動性・多動性」と「不注意」の二つからなるものADHDについて】

ADHDは両方よく見にくく、「衝動性・多動性」が顕著な場合は「衝動性・多動性」が見え、その人に入社してからで表れる特徴が見えなかった場合はADHDは衝動性やしつこいのがではなく、生来つづきの脳機能の特性です。

自分の興味関心のあるものに夢中になっていたり、耳や目についたものに気がしつたり、利を



臨床心理士
小森 香先生

受けて直線的な行動をとっています。例えば、興味や向くべき方向が定まらずに道端へ出てしまったり、スーパーにいらるときの整理を要したり、何事でも見えて、また気が変わるとすぐさま手放す傾向が見えたり、今更な人に入社してからで表れる特徴が見えなかった場合はADHDは衝動性やしつこいのがではなく、生来つづきの脳機能の特性です。

自分の興味関心のあるものに夢中になっていたり、耳や目についたものに気がしつたり、利を

2歳6か月児園からの
システム導入ポイント
【WAONカード】今年3期
実施した受取説明会も、参加者より
「早くにできちゃった」「思ったより
簡単」「ついでにやっちゃった」「今後
の生活に活用したい」と好評で、今
次期開催の予定ですが、参加者
のみなさんへメールでご案内いたします。

● 個別対応もいたします。〆
お申し込みのうえ方法が分かるように
していただくのがよいです。WAONは「お
金のことはシステム導入スタッフが担当
でございまして。ご希望の時、場所等
をコールセンターまたはお申し込みの
上でWAONの申し込みをいたします。

■ 問い合わせ先 TEL.085-880-2173



お手元に「質問票」が残っていませんか？

子育ては家事、仕事と毎日忙しかるいては、エコチル調査へのご協力ありがとうございます。調査の「質問票」は、到着後2週間以内に記入とご返送をお願いしています。それは、その時のお子さんの成長や生活をエコチル調査に正確に反映していただくためです。エコチル調査に正確に回答いただければ、お子さんの様子を一つ一つみてくださいます。半年前と違った発見があるかもしれません。お子さんの成長を楽しみにしながら調査への記入をお願いします。

県外に引っ越しが決まりました。
質問票はそちらに送っても構いませんか？

新しいご住所、引っ越し時期をお知らせください。県外エコチルセンターの調査地獄からご確認いただけます。高知に質問票を送ったいただくことも可能です。海外の場所、質問票の郵送を止めるともできます。

**返信用封筒の
差出有効期間が過ぎている！**

大丈夫です。返信用封筒をお使い、切手は貼らずにそのままポストに投函して大丈夫。

**答えない
質問があるんだけど？**

質問事項に「X」印をして、次の質問に進んでください。

●エコチル調査とは、環境中の物質が子どもたちの健康にどのような影響を与えているかを解明することです。そのために、皆さんから送っていただく質問票がとても重要で、安全な環境を未来に育むため、ご協力をよろしくお願いいたします。

質問票の返信用の送り方
方法がわからない方は、**「はめたWAON」**を実況して、まだご不明な点があれば、お申し込みフォームページからどうぞ。

こうちエコチル調査 検索

ご返送がない場合

- ① 質問票をお送りしてからの1週間、お手元に届いていないかを確認する方が多くあります。
- ② 2次の封、シールドメールを送信します。
- ③ 3次の封は、お電話などでご連絡いたします。

●質問の回答がなかったお返しの場合
に、エコチル調査事務局よりエコチルセンターへお知らせいたします。

●ご返送には必ずお名前とご住所など、連絡先をお知らせください。

Event イベントのお知らせ

**2016年2月11日(休)祝
5周年記念イベント
「ちるるんフェスタ」開催**

エコチル調査にお参りするご周年を記念した、そこで、調査参加者とそのご家族の皆さんと一緒に周年をお祝いするイベントを開催いたします。

詳しくはこちらのお申し込みフォーム、資料のチラシなどをご覧ください。

★お楽しみドリンク・ジェイコチルさんごみなんに会いに来よう★

ご質問はこちらへ → **エコチル調査 高知エコチルセンター TEL 088-880-2173**

ホームページはコチラから

HPアドレス <http://kochi-ecochil.jp/> 検索ワードは「こうちエコチル」

お問い合わせ

[illegible][illegible]

平成 28 年 2 月 11 日 5 周年記念イベント『ちよるるんフェスタ』

参加者限定コンサート
こうちエコチル調査 5th Anniversary

ちよるるんフェスタ

親子そろってのしるるん
入場無料
事前予約制 (定員800名)

5周年記念プレゼント!
ご来場者の中から3組の方に来場記念品をプレゼント!!

エリックさん
LUCKY LIVE

0歳からの音楽コンサート
LUCKY LIVE

2016年 2月11日 木祝
開演:12:45~14:45 開場受付:12:00

高知市文化プラザ かるぼーと
【大ホール】
高知市九反田2-1

高知大学 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局
Kochi University (後援) 高知県、高知市、高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSS高知さんテレビ

こうちエコチル調査 5th Anniversary

1 12:45~13:00
こうちエコチル調査 報告会

調査の結果と質問書で
わかってきたことを
ご報告します。

2 13:00~13:30
0歳からの音楽コンサート

高知で生まれた子供のためのコンサート。
泣いても、寝てもOKだから、周りを気にせず
楽しめます。歌のお姉さんや着ぐるみ達と一緒に、
歌ったり踊ったり、家族みんなで楽しめましょう。
(後援) 高知市文化プラザ かるぼーと 事務局

3 13:45~14:00
スーパーバンド Live

ドラム・ギター・ベース・キーボード・ヴォーカル
(スーパーバンド)。
ゴッパが調査参加者であることから、
こうちエコチル調査のオフィシャルパートナーを
兼ねてくれています。ライブでは、
イメージソングを歌います。お楽しみに!

4 14:00~14:30
エリックと歌って踊ろう~
in English

アメリカ・ニューヨーク州に生まれ、
マサチューセッツ州ウィリアムスタウンの
豊かな自然の中で育つ。20年以上にわたり
教育エンターテインメントの世界を中心にTV番組、
子供英語教材などの制作で活躍中。
NHK Eテレ「えいごであそぼ」の出演は19年目。

お申し込み方法 往復ハガキでご応募ください。
1 家族1枚までのお申込みをお願いします。

お申し込み締切
2016年
1月8日(金)
消印有効

5周年は「エコチル調査参加者」と
ご家族限定です。

会場内での飲食はご遠慮ください。
当日はお食事を済ませてお越しください。
ベビーカー置き場・おむつ替えコーナー
授乳コーナーあり

この用紙を
切り取って
ぜひ宛先に
ご利用
ください!

〒780-0072
高知市杉井流19番2号
株式会社 歳時屋室内
「ちよるるん
フェスタ事務局」 行

お問い合わせ先
ちよるるんフェスタ事務局(株)歳時屋内
☎ 088-882-0333
受付:月~金(年末年始を除く 平日) 10:00~17:00

○高知エコチル調査に関するお問い合わせ(高知局)
TEL 088-880-2173(土・日・祭日も可、9:00~17:00)
mail info@kochi-ecochil.jp
○ちよるるんフェスタ事務局
TEL 088-882-0333 http://kochi-ecochil.jp/



＜エコチル調査５周年記念 お祝いメッセージ＞

こうちエコチル調査の開始から５周年を迎えられ、ちょるるんフェスタが開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

子どもたちの未来の健康を守るため、私も２０１４年よりサポーターに就任しまして応援しておりますが、この調査は２０１１年より始まり、おなかの赤ちゃんが１３歳になるまで、長く続いていくものですので、皆さまも今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

高知県では、「日本一の健康長寿県構想」を策定し、保険、医療、福祉の取組をバージョンアップしながら進めています。

特に、母子保健に関しては、安全・安心な出産環境づくりや健やかな子どもの成長・発達への支援に重点的に取り組んでおり、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援体制作りを行っているところです。これらの取組みにより、高知県の１歳６か月児健診と３歳児健診の受診率は、少しずつ改善傾向がみられておりますが、依然として全国平均より低い状態が続いています。

昨年末にはこうちエコチル調査で分かってきたこととして、お子さんの歯の健康やたばこなどいくつかの項目についての報告書が出されています。歯やたばこなど健康に関することは、乳幼児健診で相談することが出来ますので、お子さんの健やかな成長と発達を守るためにも、市町村役場から案内がありましたら是非とも受診していただきますようお願い申し上げます。高知家の大切な子どもたちの健康を、家族みんなで守っていきましょう。

結びに、会場にお集まりの皆様のご健勝とますますのご活躍をご祈念いたしますとともに、今後も、このエコチル調査へのご協力をお願い申し上げまして、私からのメッセージとさせていただきます。

平成２８年２月１１日

高知県知事 尾崎 正直

メッセージ

本日の「ちょるるんフェスタ」の開催、誠におめでとうございます。

子どもの健康と環境に関する全国調査「エコチル調査」がスタートから5周年を迎えられ、本日は調査に参加してくださっている方々が一堂にお集まりになり、記念の日をお祝いするとお聞きしております。心よりお喜び申し上げます。

また、この催しを開催するにあたり、ご準備に関わられた皆さまのご努力に深く敬意を表します。

「エコチル調査」は、お子様が13歳になるまで後追いし、環境中の物質による子どもの健康への影響を明らかにしていくもので、県下では7,000人を超える方が参加されているとお聞きしております

今年度から、参加されている方に継続してご協力いただけるよう、「エコチル調査」の調査員さんが、幼児健診会場に毎回おいでてお声がけをされています。参加者のみなさんと調査員さんのコミュニケーションが深まっているとお聞きし、本市といたしましても、このようなご協力ができることを嬉しく思っております。参加されている皆様方には、今後も継続して調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

本日は、調査の報告会もあり、ご協力の皆さまにとっても、興味深いものになるのではないのでしょうか。また、「0歳からの音楽コンサート」「スーパーバンド Live」「エリックと歌って踊ろう～in English!」のプログラムが用意されていると伺っています。

ご参加の皆様方には、いろいろと楽しみながら、「エコチル調査」へのご理解を一層深めていただきたいと思います。

2016年2月11日

高知市長

岡崎誠也

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

平成 27 年度高知ユニットセンター年間活動報告書

平成 28 年 7 月 発行

編 集・発 行 : 高知大学小児保健・環境医学研究センター内
エコチル調査高知ユニットセンター事務局

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
高知大学教育研究部医療学系連携医学部門
医療学 予防医学・地域医療学分野（環境医学）
TEL : 088-880-2173 （平日 9 : 00 ~ 17 : 00 迄）
E-mail : info@Kochi-ecochil.jp
URL : <http://kochi-ecochil.jp/>
